



▲あいさつをする堀切川一男 理事長

4月1日、ふるさとプラザで、「一般社団法人おおさき産業推進機構」の開所式が行われました。

「一般社団法人おおさき産業推進機構」は、これまで「特定非営利活動法人未来産業創造おおさき(MSO)」が担ってきた事業を基盤とし、各産業支援機関との連携をより深めながら、大崎地域全体での内発的産業振興と地域経済を支える企業の持続的発展、雇用の拡大などを目的に設立されました。

開所式当日は、大崎市工業会やMSOなどの関係者約



▲開所を祝うテープカット

70人が集まり、新たな門出を祝いました。

堀切川一男理事長のあいさつでは、「企業の課題をリアルタイムで把握し、解決の支援をしたい。また、経営面、技術面における次世代の地域産業のリーダーとなる人材の育成を支援したい。また、たくさんベンチャー企業が進出できるようなビジネス環境の構築を目指し、オール大崎の産業支援システムとして取り組んでいきたい」と述べました。

今後の大崎地域の産業振興の発展に期待します。

### おおさき産業推進機構の開所式が行われました

### 陸羽東線利用促進講演会

☎ まちづくり推進課陸羽東線活用推進室  
☎23-5069 FAX23-2427

11年の歳月をかけて、大規模な豪雨災害による廃線の危機から奇跡の復活を遂げた只見線の取り組みを学びます。陸羽東線の利用促進に向けて、私たちに何ができるか考えてみませんか。

日時 5月23日(木) 13時15分～15時30分  
場所 鳴子公民館ホール  
定員 100人  
演題 「奇跡の復活！只見線の取組みに学ぶ」  
講師 星賢孝氏(郷土写真家)  
酒井治子氏(只見線地域コーディネーター)  
申込 5月17日(金)まで電話、または住所・氏名・電話番号を明記し、ファクス、Eメール(machi@city.osaki.miyagi.jp)のいずれかで申し込み



### 第15回おおさき観光写真コンテスト作品募集

☎ 観光交流課観光担当 ☎23-7097

本市の魅力を広めることができる写真を募集します。15回目となる今回のテーマは「これが私の自慢の大崎市」です。

詳しくは、観光交流課や各総合支所、市内観光施設に備え付けの応募用チラシ、または市ウェブサイトを確認してください。

応募期間 5月10日(金)～令和7年1月10日(金) 必着  
応募対象 令和6年中に市内で撮影した写真  
入賞発表 令和7年2月予定  
応募方法 住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号・画題・撮影場所・撮影年月日・応募部門(一般・列車車窓(※)・学生(高校生以下))・未発表の申し出を明記し、次のいずれかの方法で応募  
※列車車窓部門:撮影場所に、撮影した駅の区間を明記してください。

応募作品の種類	応募方法および応募先
印刷した写真	観光交流課(本庁舎3階北側、989-6188 古川七日町1-1)へ持参または郵送
写真データ	①Eメールで送信する場合 写真コンテスト専用アドレス(osaki_shashin@yahoo.co.jp)へ送信
	②LINEで送信する場合 次の二次元コードを読み取り、大崎市観光交流課を友だち追加して、送信



▲第14回一般部門最優秀賞「雪景色と列車」



▲観光交流課LINE



▲市ウェブサイト

## CITY TOPICS

まちの話題や出来事、ニュースをお届けします!



▲餅を購入する来場者

4月7日から、道の駅おおさきで古川八百屋市が開催されています。

古川八百屋市は、慶長9年(1604年)、伊達政宗に古川城主を任された鈴木和泉守元信が、住民の安住と民心の安定を図るため、三日町の三日、七日町の七日に「御日市」を開いたことに由来する朝市です。今年には420周年の記念する年になります。当初は三日町、七日町が会場となっていました。数回の移転を経て、現在は道の駅おおさきで行われています。今年4月7日から6月27日(木)までの3と7の付く日(30日と

### 古川八百屋市が開催されています



▲歴史をたどるパネル展

31日を除く)の6時から9時まで開催されます。

初日のこの日は、旬の野菜や漬物餅、海産物、衣料品など20店舗が立ち並び、開会式が始まる前から多くの客でにぎわい、店主との会話を楽しみながら買い物をしていました。

また、期間中は420周年を記念して、道の駅おおさきの道路情報・休憩コーナーで、記念パネル展を常設しています。古川八百屋市の歴史を振り返る内容で、はじまりから現在に至るまでの時代背景に触れることができます。この機会に、ぜひ立ち寄ってみませんか。

### 広報おおさがリニューアルしました

☎ 秘書広報課広報広聴担当 ☎23-5023

令和5年に実施した「広報おおさき」に関するアンケートでの意見を参考に、今月号から紙面を一部リニューアルしました。

今後も、市政や催し、生活に必要な情報を市民に伝えるため、幅広い世代の人にとって、見やすく、分かりやすい広報紙を目指します。

- ▶リニューアルのポイント
- 表紙を巻頭の特集記事と連動させることにより、各号の内容を分かりやすくしました。
  - 「くらしの情報」の記事の種類ごとに目印のイラストを表示することで、記事を探しやすくしました。

